



[果樹部門]

[農業研究所ホームページへ](#)

11. ブドウ晩腐病に有効な発芽前防除薬剤

[要約]

簡易被覆栽培ブドウの発芽前防除で使用されていたベフラン液剤 25 の代替薬剤として、晩腐病に有効な薬剤はベンレート水和剤及びパスポート顆粒水和剤である。

[担当] 岡山県農林水産総合センター農業研究所 病虫研究室

[連絡先] 電話 086-955-0543

[分類] 技術

[背景・ねらい]

県内の簡易被覆栽培ブドウにおいて、晩腐病対策としてベフラン液剤 25 を用いた発芽前防除が実施されている。しかし、同剤は令和 7 年度に登録失効が予定されており、代替薬剤の選定が急務となっている。そこで、各種発芽前防除薬剤の晩腐病に対する防除効果及び薬剤感受性を明らかにし、代替薬剤を選定する。

[成果の内容・特徴]

1. ベンレート水和剤は、ブドウ晩腐病菌に対する分生子形成抑制効果が高い（図 1）。
2. 発芽前に、ベンレート水和剤及びパスポート顆粒水和剤を散布した場合、ブドウ晩腐病の発病が無処理より低く抑えられる（図 2）。
3. ベンレート水和剤については、一部の圃場で耐性菌が発生しているが、発生圃場率は平成 24 年と比べて減少傾向にある（図 3）。

[成果の活用面・留意点]

1. 県内では、ブドウ褐斑病においても、ベンレート水和剤に対する耐性菌が発生している。
2. ベンレート水和剤は耐性菌の発生リスクが高いため、圃場での発生状況等に留意する必要がある。使用する場合には、単剤での使用は年 1 回に留め、他系統の薬剤を組み合わせた防除を行う。
3. パスポート顆粒水和剤は、トクチオン水和剤と混用し、一定時間経過すると、薬液が凝結する可能性があるため、薬液調整後はすぐに散布する。
4. パスポート顆粒水和剤は、石灰硫黄合剤と混用できない。
5. 耕種的防除（伝染源の除去等）、物理的防除（袋掛け等）及び生育期の化学的防除を組み合わせた総合的な防除対策を実施する。



[具体的データ]

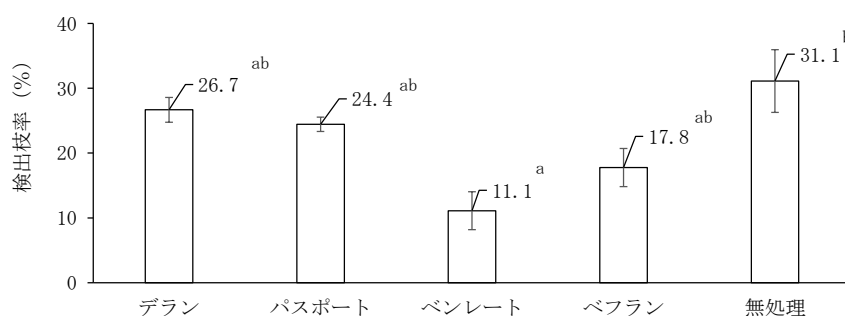


図1 各種発芽前防除薬剤のブドウ晩腐病菌に対する分生子形成抑制効果

- 注1) デラン：デランフロアブル 200 倍、パスポート：パスポート顆粒水和剤 250 倍、ベンレート：ベンレート水和剤 200 倍、ベフラン：ベフラン液剤 25 250 倍
 注2) 試験方法：ブドウ結果枝に各薬剤を散布し、温室条件下で 10 日間培養後の分生子形成の有無を調査した
 注3) 図中のエラーバーは、3 試験の平均値の標準誤差を示す
 注4) 図中の異英小文字間差は Ryan 検定により有意差あり ($p < 0.05$)

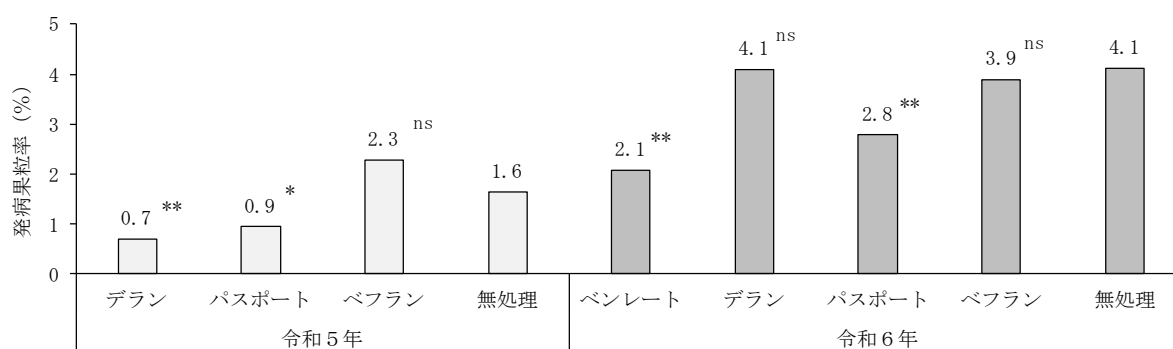


図2 各種発芽前防除薬剤のブドウ晩腐病に対する発病抑制効果

- 注1) デラン：デランフロアブル 200 倍、パスポート：パスポート顆粒水和剤 250 倍、ベンレート：ベンレート水和剤 200 倍、ベフラン：ベフラン液剤 25 250 倍
 注2) 試験場所：農業研究所、品種：ピオーネ（簡易被覆）、試験年：令和5年及び令和6年
 注3) 図中の記号は χ^2 検定による無処理との有意差検定の結果を示す (**: $p < 0.01$, *: $p < 0.05$, ns: $p \geq 0.05$)

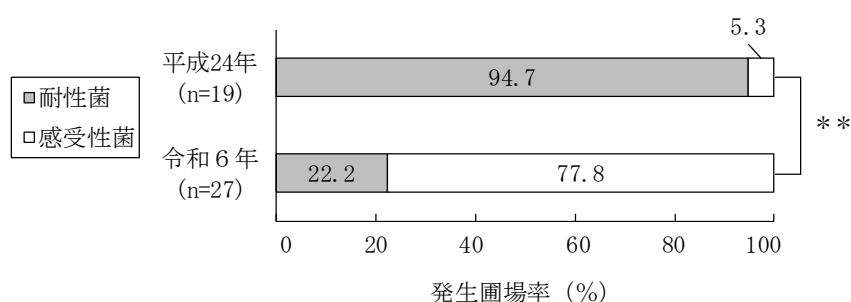


図3 岡山県内で採取したブドウ晩腐病菌のベンレート水和剤に対する薬剤感受性

- 注) 平成24年は県内12市町19圃場、令和6年は県内15市町27圃場より採取した晩腐病菌を、寒天平板希釈法による検定結果から判断した。図中の**は Fisher の正確確率検定による有意差 ($p < 0.01$) を示す

[その他]

研究課題名：簡易被覆栽培ブドウにおける主要病害に効果的な発芽前防除薬剤の検討

予算区分・研究期間：受託（全農委託）・令6年度

研究担当者：苧坂大樹、井上幸次

関連情報等：試験研究主要成果、[令6（41－42）](#)